

NTT DATA Code of Business Ethics



目次

CEO メッセージ	03	高い倫理観と公正な判断に基づく、健全な企業活動の実践	11	Business Ethicsを維持するためのあなたの役割	28
Our Way	04	3.1. 贈収賄・腐敗行為の禁止	12	5.1. 倫理的な判断	29
用語の定義	05	3.2. 責任ある貿易	14	5.2. 内部通報	30
NTT DATA Code of Business Ethicsとは	06	3.3. 倫理的で持続可能なサプライチェーンの確保	15	コンプライアンス、Code遵守状況の確認、点検	31
1.1. Codeの目的	07	3.4. 公正な競争	16	6.1. コンプライアンス違反への対応	32
1.2. Codeの適用範囲	07	3.5. 責任ある倫理的なテクノロジーの設計・開発と使用	17	6.2. 研修	32
1.3. Codeの使い方と倫理的なビジネス遂行の実践方法	07	3.6. 利益相反の回避	18	6.3. Codeの理解	32
一人ひとりが能力を最大限に発揮し、互いに尊重し合える安心・安全な職場環境の実現	08	3.7. 責任あるコミュニケーション	19	6.4. Code遵守状況の確認、点検	32
2.1. 人権の尊重	09	3.8. 機密情報の保護	20	略式索引	33
2.2. 現代奴隷制、人身売買、強制労働、児童労働の防止	09	3.9. 知的財産の保護	20		
2.3. 安全な職場の確保	09	社会の一員としての責任を自覚し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な貢献	21		
2.4. あらゆるハラスメントの禁止	10	4.1. 健全なコーポレート・ガバナンス の実践	22		
2.5. ダイバーシティ&インクルージョンの促進	10	4.2. 会社資産の責任ある使用	23		
2.6. 平等で差別のない職場の確保	10	4.3. 法令遵守	24		
		4.4. 持続可能な環境と社会への貢献	26		
		4.5. ビジネスレジリエンスの優先	26		

CEO メッセージ

世界中のNTT DATAで働く皆さんへ

NTT DATA は、「誠実さ」を何よりも大切にしてきました。日本に根ざした企業として、そして世界中に広がるグローバル企業として、私たちは常に「良心に従って行動する」という信念のもと、社員、お客様、そして社会に向き合ってきました。

私たちはグローバルITサービスのリーダーとして、文化、言語、商習慣の異なる環境で事業を展開しています。この多様な環境において、私たちの行動の基準となるのがCode of Business Ethicsです。Code of Business Ethicsは、私たちのMission「情報技術で、新しい「しくみ」や「価値」を創造し、より豊かで調和のとれた社会の実現に貢献する。」を具体的な行動として実践するための指針です。

また、Code of Business Ethicsは、私たちの4つのValues、「Respect every voice.」「Think big. Be bold.」「Deliver the outcome.」「Win together.」に基づいています。これらのValuesは、私たちがどのように判断し、行動し、互いに責任を持つか、お客様や地域社会に対する姿勢を形づくるものです。

私たちは、各地域に根付く慣習や文化を深く尊重しています。しかし、それらが当社の基準と相反する場合には、私たちは一貫してCode of Business Ethicsに則って行動します。この姿勢をグローバルに徹底することは、単に正しさを追求するためだけでなく、お客様やビジネスパートナーの皆様、そして

世界中のNTT DATAの仲間から寄せられる信頼を、より一層確かなものにするためでもあります。地政学的な変化、法規制の変動、そしてAIの急速な発展など、変化のスピードが増す中、Code of Business Ethicsは私たちが一丸となり、法令を遵守し、長年培ってきた信頼を守るための土台となります。私たちが「何を提供するか」だけでなく、「どう行動するか」も同じくらい重要だと考えています。

すべてのNTT DATAの社員の皆さんにお願いしたいのは、このCode of Business Ethicsをしっかりと読み込み、そして何より日々の業務の中で実践していただくことです。誠実に行動することが、私たちのビジネスを守り、文化を強化し、信頼と敬意に基づく職場環境をつくれます。もしなにかおかしいと感じたら、ためらわず声を上げてください。あなたの声は尊重され、守られます。

これからも、お客様・社会へ価値の高いサービスを提供することで、Quality Growthを実現しながら、NTT DATAが大切にしてきた高い倫理基準を体現していきましょう。

皆さんの継続的なご協力に感謝します。

佐々木 裕

NTTデータグループ 代表取締役社長 CEO



Our Way



Our Wayは、約20万人の社員一人ひとりの判断基準として、企業文化を育むとともに、日々の行動を導く道しるべであり、NTT DATAの方向性と価値観を集約したフレームワークです。

Mission

Accelerate client success and positively impact society through responsible innovation.

情報技術で、新しい「しくみ」や「価値」を創造し、より豊かで調和のとれた社会の実現に貢献する。

Values

Respect every voice. We grow by listening. We invite different viewpoints, honor every background and encourage sharing perspectives to learn from one another.

Think big. Be bold. We stretch beyond what's expected. Curiosity fuels us, ambition drives us and innovation is how we push boundaries to shape the future.

Deliver the outcome. We build trust by keeping our word. We act with integrity and hold ourselves accountable — always choosing to do the right thing.

Win together. We lift each other up. We collaborate across borders, share openly and succeed as one global team.

Code of Business Ethics

私たちが、倫理的かつ法的に適切に、他者や社会に敬意をもって行動することを定めたもの。責任ある事業活動のよりどころ。

用語の定義



Code

NTT DATA Code of Business Ethics



社員および役員

NTT DATAグループ各社の社員 (パートタイム、有期雇用等含む)、役員



ビジネスパートナー

お客様、コンサルタント、委託先、独立請負業者、臨時労働者、エージェント、サプライヤー、販売業者、仲介業者、ベンダー、人材派遣業者、その他すべての第三者



お客様

私たちの商品やサービスを提供する企業や公的機関



NTT DATA

株式会社NTT データグループおよびその連結子会社



公務員

以下のいずれかに該当する団体や人物を含む

- 政府機関や政党を代表して行動する者、またはその職員
- 政治家候補
- 地方、州、県、または国家機関で働く者
- 国際機関で働く者
- 学校、病院、公共放送機関など、政府が所有、管理、または資金提供する団体で働く者
- 王室の一員



Values

NTT DATAのValues

1. NTT DATA Code of Business Ethicsとは

Codeについて

1.1 Codeの目的

1.2 Codeの適用範囲

1.3 Codeの使い方と倫理的なビジネス遂行の実践方法

NTT DATAは、ともに成長し、責任を持って、良心に従って行動する文化を大切にしています。

NTT DATA Code of Business Ethicsは、私たちがビジネスを遂行する際に期待される倫理的な行動と判断の指針です。

私たち一人ひとりに、尊重、イノベーション、誠実さ、そして協力の文化を育み、それを実践する責任があります。

これを実現するために、私たちは、Codeに従い、法規制や社内規程を遵守します。

1.1 Codeの目的

私たちは、ビジネス全体において高度な倫理観を持つことにより、社員や役員、そしてビジネスパートナーから信頼され、倫理的かつ長期的な関係を築けるグローバル・ビジネスパートナーとなることを目指しています。

1.2 Codeの適用範囲

Codeは、株式会社NTTデータグループの取締役会により承認されたものであり、社員および役員、(直接的または間接的な)子会社に適用されます。

すべての社員および役員は、Code、社内規程およびValuesに従う責任を負っています。Codeを守り、NTT DATAのValuesを実践することで、当社の文化を構築します。また、各子会社は、責任ある事業活動の実践というメッセージを共有し、定着させることが求められています。

当社のValuesは、社内外すべての関係における指針であり、混乱や曖昧な状況に直面した際には正しい判断を行うことを手助けします。

私たちは、高度な倫理観を持ったステークホルダーや私たちの価値観や倫理観に一致するビジネスパートナーと取引し、連携します。ビジネスパートナーの行動が当社に影響を与える可能性があるため、ビジネスパートナー、そして関連会社、株主には、私たちと共に働く際や私たちの代理として業務を行う際に、Codeの原則や価値観を守っていただくことを期待しています。

グローバル企業として、私たちは国際基準に従い、適用法令を遵守します。私たちが事業展開する多くの国々では、それぞれ異なる法規制が適用されるため、Codeは、そういった現地のビジネス要件や法規制に対応するローカライズされた社内規程により、補完されています。

私たちは、誠実に行動し、お互いを尊重し合うために、たとえ社内規程や法律で求められる以上のことであっても、正しいことを行います。

1.3 Codeの使い方と倫理的なビジネス遂行の実践方法

Codeや社内規程、または法律に反する行動は、ビジネスに深刻な影響を及ぼす可能性があります、罰金、財務的損失、そして当社の評判の悪化を招くことが考えられます。そのため、すべての社員および役員がCodeの内容や原則を理解していることが重要です。

私たちは、社員および役員がCodeに基づく行動を率先して実践することを奨励し、健全かつ倫理的なビジネス上の判断を行えるようガイドします。

→ 倫理的な判断のために



私たち一人ひとりが実践しよう

- Code、社内規程、そしてNTT DATAにおける一人ひとりの役割に適用される法規制を理解し、遵守し、推進しましょう。
- 社員および役員、ビジネスパートナー、会社および地域社会と関わる際に期待される行動を理解しましょう。
- 当社のValues、責任ある事業活動、およびCodeに関するポジティブなメッセージを伝え、強化しましょう。
- コンプライアンス研修を毎年受講するとともに、倫理・コンプライアンス研修や啓発プログラムを積極的に支援し、奨励しましょう。
- 当社のValuesと倫理観が一致するビジネスパートナーと連携しましょう。
- ロールモデルとして行動し、チーム内で率先して正しい行動を実践しましょう。報復を恐れず、オープンに意見を述べることをチームに奨励しましょう。
- 正しい判断や行動に迷ったときには、Codeを参照したり、上司や自社のコンプライアンス部門に相談しましょう。
- Codeに違反する行為を見かけたら、声をあげましょう。また、周りの人にも同じ行動を促しましょう。

2. 一人ひとりが能力を最大限に発揮し、互いに尊重し合える安心・安全な職場環境の実現

私たちは、以下に努めます。

- 2.1 人権の尊重
- 2.2 現代奴隷制、人身売買、強制労働、児童労働の防止
- 2.3 安全な職場の確保
- 2.4 あらゆるハラスメントの禁止
- 2.5 ダイバーシティ&インクルージョンの促進
- 2.6 平等で差別のない職場の確保

NTT DATAでは、人権を尊重し、社員とビジネスパートナーに対し、敬意と尊厳をもって接します。私たちは、客観的かつ公正なプロセスに従い、明確なビジネス上の根拠に基づいて意思決定を行います。

2.1 人権の尊重

私たちは事業活動を行うあらゆる場所で、人権と人間の尊厳を尊重し、保護します。

私たちは、事業運営やバリューチェーン全体で発生する人権への悪影響を特定し、予防し、低減し、その対処方法を説明することに努めます。発生した影響に対しては、真摯に是正に取り組みます。

また、私たちは、労働者の権利、特に労働者である社員が自ら選択した労働組合の結成や加入、団体交渉を行う権利を尊重します。

[→ NTTグループ人権方針](#)

2.2 現代奴隷制、人身売買、強制労働、児童労働の防止

私たちは、あらゆる形態の現代奴隷制、人身売買、強制労働、児童労働を行いません。

異なる法域に社員を擁し、さまざまな業界のお客様を支援する企業として、取引先の選定には十分な注意を払います。私たちは、現代奴隷制、人身売買、強制労働および児童労働に反対する明確な姿勢を示します。また、当社のサプライチェーンが当社が設定する基準を満たし、その基準を維持することを期待しています。

2.3 安全な職場の確保

私たちは、社員がモチベーションを保ち、生き生きと働くことができる、安心安全な就業環境づくりに努めます。

私たちは、すべての社員の身体的かつ精神的な安全を確保できるように取り組みます。

社員の健康と安全を守るため、適切な安全手順を徹底し、リスクの最小化と快適な就業環境の確保に取り組みます。

社員および役員は、いかなる形態の身体的または言葉による暴力や妨害行為、脅迫的な行為を慎み、お互いを尊重します。

プロフェッショナルリティを重視し、敬意を払い、互いに認め合う文化を促進することにより、社員の心理的安全性の確保を促進します。

また、社員および役員には、アルコール、薬物、医薬品の影響で、業務遂行能力が損なわれないようにすることが求められます。違法薬物または銃器の所持または使用は、当社のビジネスパートナーの敷地内を含め、いかなる事業環境においても厳格に禁じられています。





2.4 あらゆるハラスメントの禁止

私たちは、威圧的またはいじめ的な行為を含む、あらゆる形態の暴力やハラスメントを排除し、互いに尊重されるプロフェッショナルな就業環境を維持するよう努めます。

私たちは、社員および役員が自身の行動に気を配り、他者を言葉や身体的、心理的に不当に扱ったり、不快にさせたりしないよう、促します。そのような行為は、当社の社員および役員であろうと、ビジネスパートナーであろうと容認されません。

2.5 ダイバーシティ&インクルージョンの促進

NTT DATAは、多様性を尊重するグローバル企業として、多様な能力やバックグラウンドを持つ社員および役員、そしてビジネスパートナーを歓迎し、その活躍を積極的に支援しています。

私たちの職場は多様な人々で成り立っており、その多様性こそが強みです。各個人の経験や才能、バックグラウンドを最大限に活用できる環境があります。私たちは、すべての声に耳を傾け、異なる視点を歓迎し、あらゆるバックグラウンドを尊重し、視点の共有を奨励します。それぞれの能力を発揮し活躍できる職場環境を育むことで、偏見のない進歩的なグローバルコミュニティの実現に貢献していることに、私たちは誇りを持っています。

2.6 平等で差別のない職場の確保

私たちは、社員および役員が個人的な信条や考え方、バックグラウンドに関係なく、専門的な能力に基づいて参加・協力し合える、敬意と公平さを重んじる就業環境づくりに取り組みます。

私たちは、すべての社員および役員、ビジネスパートナーを公平に扱います。私たちのすべての人事や業務上の決定は、明確な事業方針に基づいて行われます。私たちは、平等な機会を提供し、偏見や縁故主義を排除し、採用、報酬、人事慣行において公平な待遇を確保します。



3. 高い倫理観と 公正な判断に基づく、 健全な企業活動の実践

私たちは、以下に努めます。

- 3.1 贈収賄・腐敗行為の禁止
- 3.2 責任ある貿易
- 3.3 倫理的で持続可能なサプライチェーンの確保
- 3.4 公正な競争
- 3.5 責任ある倫理的なテクノロジーの設計・開発と使用
- 3.6 利益相反の回避
- 3.7 責任あるコミュニケーション
- 3.8 機密情報の保護
- 3.9 知的財産の保護

私たちのパートナーシップは、倫理、透明性、および持続可能な実践への強いコミットメントを示しています。私たちは責任あるパートナーとして行動し、常にビジネス倫理と誠実さを重視し、事業を運営します。私たちは、ビジネスパートナーにも同じ基準を求め、すべてのビジネスの成果に責任を持ち、合法的かつ倫理的であることを確保します。

3.1 贈収賄・腐敗行為の禁止

私たちは、あらゆる形態の腐敗行為を拒絶し、腐敗行為に巻き込まれることを避けるための措置を講じます。

腐敗行為はビジネス上の評判を損ない、関係を悪化させ、社員および役員、ビジネスパートナーの信頼を失う原因となります。そのため、私たちはそのような腐敗行為に手を染めることなく、実力と健全なビジネス原則に則って事業を展開しています。

私たちは、現地の慣習にかかわらず、賄賂、キックバック、ファシリテーションペイメント（直接的、間接的、または隠された形態を問わず）を一切、提供も享受もしません。

私たちは、不適切な事業上の優位性を得るための利益、贈答、接待、その他の便宜を受けたり、提供したり、約束することはありません。公務員と接する際には、特に注意を払います。社員および役員は、接待・贈答を提供する、または受け入れる際には、社内規程に従い、常にNTT DATAの評判を考慮し、責任を持って行動する必要があります。

私たちは、把握していたかどうかに関わらず、私たちの代理として行動するビジネスパートナーによる賄賂やその他の腐敗行為についても責任を問われる可能性があります。そのため、これらの関係を慎重に審査、監視し、適切に管理することが重要です。私たちの代理として行動するビジネスパートナーが価値あるものの支払いや申し出を行うことを許さず、そのような支払いが私たちの同意や認識なしに行われないよう、適切な注意を払います。

定義



賄賂とは？

賄賂とは、特定の行動、決定または振る舞い（決定や行動をしないことを含む）に影響を与えたり、引き起こすため、または不適切な利益を確保するために、直接的または間接的に便宜や価値あるものを提供したり、享受することです。賄賂は、民間および公共分野の両方において行われる可能性があります。賄賂の申し出は、実際に価値あるものが手渡されなくても、責任を問われるリスクを生じさせる可能性があります。



価値あるものとは？

価値あるものとは、贈答、金銭、約束、食事、個人的なサービス、繰り返し提供される少額の贈答、ビジネスチャンス、投資や雇用の機会、その他のインセンティブを含みますが、これらに限られません。



キックバックとは？

キックバックとは、当事者が優遇措置やサービス、契約を確保する見返りに行われる、違法または不正な支払いです。



ファシリテーションペイメントとは？

ファシリテーションペイメントとは、外国または公務員に対し、ビザ、労働許可証、ライセンス発行等、公務員等が果たすべき日常業務やサービスの履行を迅速にまたは確実にするために行われる支払いです。





3.1 贈収賄・腐敗行為の禁止



接待贈答が適切かどうか確認しましょう

正当な事業目的を伴う贈答の場合もあります。贈答や便宜を提供する、または受け入れる前に、以下の観点を確認しましょう。判断に迷う場合は、自社のコンプライアンス部門に相談しましょう。

この接待贈答が公になると、NTT DATAの評判を落とすことになるか？	この接待贈答が受取人に関連する事業上の決定に影響を与えるか？または影響を与えるように見えるか？	過剰な支払いやキックバックのリスクがあるか？	非常に高額な贈答であるため、受取人が不快に感じたり、何らかの形でお返しをしなければならぬと感じるか？	特定のビジネスパートナーから頻繁に贈答を受取っており、長期的には、不適切に見なされる可能性があるか？	この接待贈答がビジネスパートナーに提供されるとき、ビジネスパートナーはNTT DATAに関する決定や公開入札に関する意思決定を行っている期間中か？
-------------------------------------	---	------------------------	--	--	---

→ これらの質問のいずれかに「はい」と答えた場合は、次に進まず、コンプライアンス部門に相談してください。

→ これらの質問への回答がすべて「いいえ」の場合、関連する社内規程に従って、手続きを進めてください。

3.2 責任ある貿易

NTT DATAは、商品やサービスのグローバルな取引を積極的に実施しています。私たちが事業展開する多くの国や地域では、輸出入に関する法律や規制があり、それらは制裁、テロリストリストやブロックリスト、禁輸措置、その他の再販制限に関連するものが含まれます。

私たちは、輸出入の際、関連するすべての国際貿易規制と各国の法規制を遵守します。また、輸出入に必要なすべてのライセンスや許可を取得し、すべての取引について正確かつ完全な記録を保管します。すべてのビジネス関係および取引（金融取引を含む）を評価し、コンプライアンスを確保します。

効果的なコンプライアンスは法的制裁のリスクを低減するだけでなく、信頼できる取引パートナーとしてのNTT DATAの評判を高めます。また、これらのコンプライアンスを重視した実践を通し、ビジネスパートナーやステークホルダーとの信頼関係を築き、円滑に法律を遵守したグローバルな事業運営を目指します。



国際取引の評価をしよう

取引の初期段階において、国際的な金融取引、サービス、製品、技術情報の提供を伴うかどうかを慎重に検討しましょう。



ボイコット要求には注意を払おう

コンプライアンス部門に相談なく、ボイコットに協力しないでください

ボイコット活動とは、特定のグループ（個人、企業、製品、組織、国、政府）との取引を拒否したり、ボイコット対象に関する情報を求めることです。このような要求は、違法である可能性があり、またサービス基本契約書、請求書、業務仕様書等の文書において、そのような活動が禁止されている場合があるため、注意しましょう。



3.3 倫理的で持続可能なサプライチェーンの確保

私たちはビジネスパートナーとの協力と相互の信頼の構築に努めます。

私たちは、サプライチェーン上の新しいサプライヤーや委託先について詳細に評価し、サービスの提供やお客様に影響を及ぼす可能性のある継続性、その他のビジネスリスクを低減します。

私たちは、信頼できるサプライヤーや委託先からの公正かつ責任ある調達を行い、競争力のある価格、品質、技術および納期に基づく公正な購買取引に努めます。

暴力、威力、詐欺、違法薬物取引、テロ等の犯罪行為により社会秩序や安全に脅威を与える犯罪者、テロリスト、その他反社会的勢力と関係を持つことは、NTT DATAへの信頼を損なうおそれがあり、私たちが何らかの危険に晒されるリスクがあります。また、反社会的勢力は、違法に取得した資金にかかるマネーロンダリングのために、NTT DATAが関与する取引を巧妙に利用する可能性があります。

ビジネスパートナーを理解することは、法律を遵守し、贈収賄、詐欺、マネーロンダリングのリスクを低減するだけでなく、サイバー攻撃やデータ漏洩に関連するリスクの低減にもつながります。そのため、リスクベースアプローチを用いて、新しいビジネスパートナーとの取引開始前や取引中における継続的なデューデリジェンスを実施します。また、私たちの影響下にある金融取引を監視し、マネーロンダリングの検出、防止と、反社会的勢力との関係排除に努めます。

ビジネスパートナーと協力し、ビジネスおよびサプライチェーンにおける人権、労働環境、環境保護、腐敗行為への対応に努めます。調達する製品およびサービス、提供するソリューションが社会に与える影響を評価することで、より良い社会に貢献し、責任あるサプライチェーンを構築します。



取引相手を知ろう

- すべてのビジネスパートナー、そして、必要に応じてお客様に対するデューデリジェンスを実施することで、すべての取引相手が法律を遵守し、倫理的なビジネスに取り組んでいることを確認しましょう。
- 取引相手選定に関するすべての決定は、価格、供給可能性、商品やサービスの提供能力、品質など、客観的な商業的または経済的基準に基づいて行いましょう。
- リスクベースアプローチを用いて、ビジネスパートナーとの取引に関連するあらゆるリスクを考慮しましょう。（例えば、商業的リスク、環境リスク、そのビジネスパートナーに適用される特定の法律に関連するリスクなど）
- ビジネスパートナーが私たちのCodeやValuesに沿っているかどうか確認しましょう。
- ビジネスパートナーと関わる際には、利益相反の疑いを招くような状況さえも避けましょう。

問題が発生した際には、率直かつ誠実なコミュニケーションを通じて、ビジネスパートナーの状況や意図を理解するよう努めます。

定義



詐欺とは？

詐欺とは、不当または違法な利益を得るため、あるいは他者に損失や損失のリスク（通常は金銭的なもの）を生じさせるために、意図的かつ不正に欺瞞を用いる行為です。詐欺行為には、文書の偽造、虚偽の情報提供、資金や備品、資産の不正流用、資金や金融取引の不適切な報告などが含まれます。



マネーロンダリングとは？

マネーロンダリングとは、違法な活動によって得られた資金を合法的な資源に変換することで、その資金の違法な出所を隠蔽しようとする行為です。



テロ資金供与とは？

テロ資金供与とは、テロ犯罪行為を実行するため、またはテロ組織を支援するために、資金やその他資源を提供する行為です。



3.4 公正な競争

私たちは、市場における公正な競争のルールに従い、不当な利益を求めません。私たちは、積極的に、公正かつ透明性を持って競争します。

自由で公正な市場は、お客様および市場に利益をもたらし、最高品質の製品とサービスを最適な価格で提供することを確認なものとしします。こうした市場の健全性を保つために、私たちが競合他社とどのように関わるべきかを定める法律が存在しています。

これらの法律は、私たちが事業を展開するほとんどの国で適用され、共謀、不公正、または競争を制限する反競争的なビジネス行為を禁止しています。

私たちは、競合他社とのコミュニケーションには細心の注意を払います。反競争的な取り決めやその疑いを避けるため、通常、競合他社と機微情報（価格やコストに関する情報等）を交換することはありません。

私たちは、入札において公正な競争を損なうおそれがある場合や、共謀入札や談合といった反競争的な取り決めにつながる可能性がある場合には、他社とのいかなる提携も行いません。入札のために他社と提携する場合は、入札への共同参加に必要な情報のみを共有し、提携契約の締結後に共有します。



反競争的な行為を理解しよう

反競争的な行為とは、市場における競争を制限したり、不公正な優位性を求める方法です。これらの行為は違法であり、公正取引の原則を損なうものです。

反競争的な行為の例：

- **価格協定：** 競合他社が同じ価格を使用することに合意し、お客様が最良の価値を求めることができないようにする行為。
- **支配的地位の濫用：** 優越的な地位を利用して価格設定に影響を与えたり、サプライチェーンを支配したり、製品やサービスの販売において条件付義務を課すことで、ビジネスパートナーを不当に不利に扱う行為。
- **市場割当または市場分割：** 競合他社がテリトリーを分割し、自らのテリトリーに留まることで、お客様の選択肢を減らす行為。
- **共同ボイコット：** 2社以上の競合他社が、特定の個人や企業との取引を拒否する行為。
- **カルテル：** 競合企業が市場を支配し、価格を設定し、生産を制限し、市場を分割することに合意することで、競争を阻害し、消費者に不利益をもたらす行為。

3.5 責任ある倫理的なテクノロジーの設計・開発と使用

私たちは、お客様や社会全体に利益をもたらすことを目的に、倫理面に配慮してテクノロジーを研究、調達、開発します。

NTT DATAは、常にイノベーションを追求する信念のもと、さまざまな研究開発活動に取り組んでいます。研究開発活動を通じて生み出される新しいテクノロジーは、人間、地域社会、自然との相互依存関係を受け入れることを目指しており、お客様と社員および役員の信頼関係を築くことにつながります。しかし、これらの新しいテクノロジーを使用するにあたっては、誤用、非倫理的な結果の創出、潜在的な偏見、不正確さ、情報セキュリティの侵害、データ漏洩といったリスクを低減しなければなりません。私たちは、新しいテクノロジーが人々や環境に与える影響を慎重に考慮します。私たちは、人間の利益や法律に反するテクノロジーを支持しません。

だからこそ、新しいテクノロジー（AIを含む）の特性について理解を深め、常に探求し、新しいテクノロジーを社会に導入する前に、徹底した研究と責任ある開発活動が必要だと考えています。

私たちは、新しいテクノロジーが、人権の尊重、公正さ、インクルージョン、信頼性、透明性、そして環境への配慮といった高い倫理基準に適合しているかを慎重に評価します。



新しいテクノロジー導入時はリスクアセスメントを実施しよう

生成AI技術を含む新しいテクノロジーを導入する場合は、最初に必ず、リスクの評価を実施しなければなりません。



3.6 利益相反の回避

私たちは、常にNTT DATAの最善の利益を念頭に行動し、個人的な利益により業務に支障をきたすことを決して容認しません。

実際のまたは潜在的な利益相反が発生するのは、NTT DATAの利益と競合する活動や関係が存在し、私たちのNTT DATAに対する責任やコミットメントを妨げる場合です。私たち一人ひとりが適切な判断に基づいて最善の選択を行うことで、信頼を損なうことなく、NTT DATAの目標達成に向けて邁進します。



さまざまな利益相反に注意しよう

ビジネスパートナーとの利益相反

私たちは、ビジネス上の正当な評価に基づいてビジネスパートナーを選定します。その際、社員または役員とビジネスパートナーとの間に特定の関係や個人的な経済的利益が存在しないかを確認するため、適切なデューデリジェンスを実施します。

雇用プロセスにおける利益相反

私たちの雇用慣行は正式なプロセスに従っており、友人や家族といった個人的な関係や縁故主義に基づくことなく、資格、スキル、経験、実績に基づいて社員を雇用し、契約します。

個人的な利益相反

社員および役員は、NTT DATAに対する注意義務を自覚し、その義務を損なうような個人的なビジネス活動は行いません。



利益相反を避けるため、以下の事項を遵守しよう

- NTT DATAを裏切ることとなるような贈答や金銭的な利益を受け取らないようにしましょう。
- 業務の一環として情報を入手した場合、それを個人的な利益のために取引したり、友人や家族、外部の者と共有しないようにしましょう。
- 職務上知り得た情報を、退職後に利用しないようにしましょう。
- NTT DATAの業務と競合・対立する副業・兼業を行わないようにしましょう。
- 職場やビジネスパートナーとの関係において、不適切と見なされる可能性がある、またはあなたの業務に関連する判断に影響を与える可能性のある関係を築かないようにしましょう。
- NTT DATAの他のグループ会社や関連会社で独立取締役や取締役としての役割を担う場合、NTT DATAの社員や役員としての独立性に影響を及ぼさないようにしましょう。
- 友人や家族を雇用プロセスで検討する場合は、公正性と独立性を確保するために、当該意思決定には自ら関与しないようにしましょう。



情報開示と透明性が鍵

私たちは、利益相反の「疑い」が生じる状況さえも避けるように努めます。実際の利益相反はもちろん、潜在的な利益相反についても、必ず主体的に上司やコンプライアンス部門に開示し、確認を受けてください。多くの利益相反は適切に管理できますが、そのためにはあなたが正直に申告することが前提となります。

3.7 責任あるコミュニケーション

NTT DATAに関する私たちの発信は、会社の評判に影響を与える可能性があります。そのため、私たちは、明確で正確な情報を提供するように努めます。NTT DATAを代表して対外的なコミュニケーションを行う権限を持つのは、指定された部署および承認された者のみです。すべての対外的なコミュニケーションにおいて、私たちは当社およびビジネスパートナー、社員の機密情報を保護する義務を十分に理解し、遵守します。

ソーシャルメディアは、関係性を築き、イベントやアイデア、情報を共有するための強力な手段ですが、責任を持って使用しなければなりません。個人のソーシャルメディアアカウントに投稿する際は、礼儀と敬意を持ち、自分の意見をNTT DATAの意見として表現しないように注意します。

すべての社員は、私たちの会社とValuesを反映しています。オンライン活動において、NTT DATAの評判を傷つけないよう注意を払う必要があります。

定義



ソーシャルメディアとは？

ソーシャルメディアには、ソーシャルネットワーキングサイト、ブログ、Vlog、オンラインフォーラム、電子メールやその他の文書によるコミュニケーション、そして会話も含まれます。



オンラインで発信する際は、合法的に、丁寧に、適切に行おう

ソーシャルメディアを使う際の留意点：

- 個人の見解とNTT DATAの見解を明確に区別しましょう。
- いじめやハラスメントに該当する、またはその可能性がある投稿はしないようにしましょう。
- 不快感を与えないように注意し、差別的または攻撃的と見なされる可能性のある意見を述べる前に、一度、考えましょう。
- 法を犯すようなもの、または法を犯すことを助長するものは投稿しないようにしましょう。
- NTT DATAの機密情報は共有しないようにしましょう。

メディアや投資家からの問い合わせは、適切なコミュニケーション担当部門に転送してください。個人で対応しないようにしましょう。



3.8 機密情報の保護

私たちは、機密情報をNTT DATAの業務運営および私たちの役割と責任を果たすために必要とされる範囲内でのみ使用します。

私たちの機密情報、ビジネスパートナーから提供された情報は、NTT DATAの競争力の源泉です。これらの情報をビジネス上の理由で共有、使用する場合、私たちはすべての機密情報を適切に保護します。これらの情報は最善の注意を払って取り扱われ、不正なアクセス、開示、不正使用から保護されます。

私たちは、業務に関連するすべての情報を機密に保持し、適切に廃棄します。第三者や同僚と不適切に情報を共有することはありません。



責任をもって会社の情報や機器を使用しよう

会社の情報を取り扱う際には、承認されたデバイスと公式の通信方法のみを使用しましょう。

明示的に許可された場合を除き、NTT DATAの認証情報や機器を使用して、個人的な目的でウェブサイト、サービス、その他のサブスクリプションに登録することは避けましょう。

定義



機密情報とは？

機密情報とは、公然と知られていない情報であって、NTT DATAの社員および役員がその業務遂行過程において生成または取得したすべての情報（第三者に関連する情報を含む）です。これは、NTT DATAが非公開に保ち、アクセスを制限したい情報です。機密情報には、個人データや、当社に競争優位性をもたらす情報、例えば、新たな製品、方式、発見に関する情報や財務情報などが含まれます。

3.9 知的財産の保護

私たちは、知的財産を積極的に保護します。

知的財産は、NTT DATAの最も価値のある資産の一つであり、競争力の源泉です。

社員および役員が業務遂行の過程で行ったすべての創作および発明は、関連する社内規程や適用法令で定められる範囲で、NTT DATAに帰属します。

私たちは、創作や発明に関するNTT DATAの権利を保全します。

定義



知的財産とは？

知的財産には、著作権、特許、意匠、商標、営業秘密などが含まれ、NTT DATAはこれらの資産価値の最大化に努めます。



特許とは？

特許とは、発明に適用される排他的な法的権利であり、国・地域によっては意匠（デザイン）も特許として保護される場合があります。NTT DATAの発明、デザイン、またはイノベーションは特許権を取得する可能性がありますので、社外に公開しないでください。

発明、デザイン、イノベーションに特許性があると思われる場合は、自社の法務部門や知的財産部門と相談してください。



4. 社会の一員としての 責任を自覚し、持続可能な 社会の実現に向けた 積極的な貢献

私たちは、以下の原則を遵守します。

- 4.1 健全なコーポレート・ガバナンス の実践
- 4.2 会社資産の責任ある使用
- 4.3 法令遵守
- 4.4 持続可能な環境と社会への貢献
- 4.5 ビジネスレジリエンスの優先

私たちは、透明性、独立性、説明責任を含む健全なコーポレートガバナンスの原則に則してビジネスを実践します。

私たちは、社員とステークホルダーのために明確かつ健全なプロセスを整備し、持続可能な取組みや慈善活動に大胆に革新的に取り組み、社会全体に広く利益をもたらすことを確かなものとしします。

4.1 健全なコーポレート・ガバナンスの実践

表明

私たちは、お客様や地域社会との約束を守ります。そのため、私たち一人ひとは、マーケティング、広告、提案、販売促進資料、契約において、NTT DATAおよび当社製品、サービス、ソリューションを正確に表明する責任を負っています。

記録

私たちは、すべての記録と報告を正確、完全かつ適時に、適用される規則および標準に従って作成します。

社内外を問わず、私たちが記録し報告するあらゆる情報は、事実を公正に表明したものでなければなりません。これには財務情報と非財務情報が含まれます。

適時かつ正確な記録と報告により、健全な経営判断を行い、NTT DATAの財務状況について一般の人々や投資家に誤解を与えることのないようにします。

情報開示と情報請求への対応

私たちは、社内利用、お客様への開示、規制当局への提出、その他外部または公開コミュニケーションにおいて、完全、公正、正確、適時かつ明確な開示を行います。

親会社であるNTT株式会社は、東京証券取引所に上場している公開会社です。株主や投資家の皆様は、重要な企業情報の適時かつ正確な開示に基づき投資判断を行います。私たちは、そのような株主の皆様等との信頼関係を維持するため、建設的な関わりを大切にします。

監査

私たちは、内部監査および外部監査に対し、法律に則り、誠実に協力します。

私たちは、私たちの記録を独立的に確認する外部監査人を選任します。内部監査人および外部監査人による監査を通して、適用される法律および確立された方針、手続き、統制の遵守を確認するとともに、潜在的な課題を特定し、迅速に是正します。

私たちは、財務記録、プロセス、統制、手続き、または監査人が照会する可能性のあるその他の事項に関して、いかなる形態でも監査人に誤解を与えるようなことはいたしません。

権限に基づく行動

NTT DATAのために意思決定を行う際には、必要な情報に基づき、社内規程および手続きを遵守して最善かつ最適な決定を行います。

私たちは、NTT DATAの決定権および委任された権限の範囲を超えて、または自身の役割に関連する権限を超えて、NTT DATAを拘束するいかなる種類の契約（口頭による約束を含む）、文書への署名、その他の取引に関与しません。



記録と報告は、正確に、裏付けとともにに行い、誤解を生じさせないようにしよう

- ✗ 財務記録を用いて、当社の事業に関して誤解を生じさせないようにしましょう。
- ✗ 財務記録や領収書を偽造したり、いかなる種類の詐欺行為も行わないようにしましょう。
- ✓ 金銭取引に関して、完全かつ正確な記録とそれを裏付ける文書を維持するよう努めましょう。
- ✓ 財務資産や記録を取り扱う際には、すべての方針、内部統制、手続き、および法律を遵守しましょう。

4.2 会社資産の責任ある使用

私たちは、情報資産、情報システムを保護します。

情報資産

NTT DATAの情報資産は、正当な業務目的にのみ使用されるべき大切な資産です。情報資産には、事業活動の遂行に使用される情報と情報システムが含まれます。情報には、印刷された文書などの物理的な形式もあれば、画像、動画、音声ファイル、データベース、ウェブサイトなどのデジタル形式もあります。

NTT DATAは、あなたが当社に在籍している間に作業し、作成し、または貢献した情報の法的所有者であり、管理者です。NTT DATAの資産を利用して、社内規程または適用される法律に違反する可能性のある行為を行ってはなりません。

私たちは、あらゆる種類の損失、不正使用、改ざんから資産を保護します。会社の機密情報が権限のない者や第三者に渡ることを防ぐことは非常に重要です。当社の資産を適切に使用し保護することは、すべてのステークホルダーとの信頼を維持し、社会にとって重要なインフラを支えるために不可欠です。

物理的な資産（現金や資金を含む）

当社の設備と資産は、社員および役員が最高のパフォーマンスを発揮するための重要な財産です。私たちは、NTT DATAの資産を個人的な利益や違法、無許諾の個人目的、または倫理に反する目的で使用することを禁じています。当社の施設、設備、機械、ソフトウェア、および現金や資金は、業務目的のみに使用されます。会社の経費の使用は、責任をもって正確に行われ、業務目的に限られなければなりません。



4.3 法令遵守

私たちは、事業を展開する国や地域で適用される法律や規制を遵守します。また、国際的な基準を尊重し、グローバル企業として求められる社会的責任に従い、高い倫理基準のもと、行動します。

現地の法規制、適用される業界特化の規範や基準がCodeより厳しい場合、またはCodeで定められた活動が禁止されている場合、私たちはそれら関連する法規制を遵守します。しかし、現地の商慣行(すなわち、法的要求ではない規範や慣習)がCodeと矛盾する場合、私たちは倫理的な行動を確保するためにCodeを遵守します。

私たち一人ひとりが、Codeおよび事業に適用される法規制の文言とその精神の両方を守ることが求められています。

税務コンプライアンス

私たちは、事業活動を行うあらゆる地域において適用される国際税務に関する規則や指針等、税務に関する法規制を遵守します。

私たちは、税務リスクの低減のため、税務コンプライアンスにかかるプロセスや管理を維持、強化します。また、合法的な方法で税負担を管理します。

プライバシー

私たちは、個人のプライバシーを尊重し、個人情報を保護します。

社員および役員とビジネスパートナーは、当社が責任を持って個人情報を使用することを信頼しています。私たちは、すべての個人情報が合法的に、公正に、倫理的かつ透明性をもって処理されるよう、最大限の注意を払っています。

個人情報を保護するため、個人情報を取得、維持、利用、移転、提供、開示、または廃棄する際には、個人情報保護に関する法令、社内規程およびプロセス(技術的対策を含む)、ならびにデータ処理契約に従います。



機微情報や個人情報を扱う際には注意しよう

- ✓ 機微な情報、特にお客様の情報や社員の情報は必ず保護しましょう。
- ✓ 個人情報や機密情報の取り扱い、保管、送信には最大限の注意と責任をもちましょう。



4.3 法令遵守

インサイダー取引

私たちは、インサイダー情報に基づいて取引を行ったり、他人に取引を勧めたりすることはありません。

社員および役員は、業務上、NTT DATAまたは他の上場企業に関する未公開情報を知ることがあります。その情報を利用して株式や証券等の取引を行うことは、証券市場の公正性や健全性を損なうため、多くの国で禁止されています。

私たちは、NTT DATAまたは他社のインサイダー情報を知った場合、その情報が公表されるまで、その企業の株式や証券等の取引を行いません。また、個人的な利益のためにインサイダー情報を取引したり、インサイダー情報を家族や取引上の関係者を含む他者に伝えたりしません。

インサイダー情報の例

- 未公表の決算報告、特に予想外の結果を含むもの
- 主要資産の購入または売却の予定
- 企業の将来の収益または損失の予測およびその変動
- 収益および収益目標の達成に向けた進捗状況
- 検討中の合併、買収または公開買付けに関する情報
- 新製品または新サービス
- 予定されている自社株買いまたは株式分割
- 役員の辞任
- 企業の財務状況に重大な影響を与える発生事象

定義



インサイダー情報とは？

インサイダー情報とは、上場企業に関する未公表の重要情報です。



重要情報とは？

重要情報とは、企業の株価や株主の投資判断に影響を与える可能性のある情報です。



インサイダー情報を交換しないように注意しよう

あなたが持っている情報が重要かどうか、あるいはインサイダー情報に該当するかどうか確信が持てない場合は、その情報を開示したり、株式を売買したりする前に、法務部門に問い合わせてください。

4.4 持続可能な環境と社会への貢献

地球環境の尊重

私たちは、企業活動・事業活動を通じて環境保全に努めます。すべての環境関連の法規制を遵守します。

私たちは、オフィス、データセンター、サプライチェーンにおいてネット・ゼロの目標を掲げています。この目標を達成するため、最新のテクノロジーの導入に努めています。

私たちは、テクノロジーとイノベーションを駆使し、気候変動、循環型社会、水資源を含む天然資源の再生に取り組んでいます。さまざまなステークホルダーと協力し、サステナブルな地球環境づくりに貢献します。

倫理的な寄附と慈善活動

すべての慈善活動や寄附は、企業の社会的責任と持続可能性への取り組みに沿った適切な理由により、透明性をもって行われます。

慈善活動や寄附はNTT DATAの企業の社会的責任の重要な部分を占めています。特に教育・研究、社会福祉、災害支援の分野におけるこういった活動が重要だと考えています。

慈善団体への寄附や寄贈は、公正かつ正確に会計帳簿に反映されなければなりません。

また、私たちは、社員および役員がボランティア活動を通じて地域社会に積極的に参画することを奨励します。

スポンサーシップやメンバーシップ

スポンサーシップやメンバーシップは、透明性をもち、正当かつ明確なビジネス目的のために行われます。

政治献金や支援

NTT DATAは、政治献金や政治家候補者の政治活動の支援を原則として行いません。もし、そのような政治献金や支援を行う場合は、適切な目的があり、十分な透明性を確保し、適用法令に従って実施します。これは、社員および役員が個人的な政治献金や寄附を行うことを妨げるものではありません。

4.5 ビジネスレジリエンスの優先

私たちは、ビジネスの継続性を確保し、ステークホルダーを保護し、レジリエントなグローバルコミュニティに貢献することを目指します。

私たちは、ビジネスに対するあらゆる不安定なリスクを特定・軽減し、そうした混乱が発生した場合でも重要な機能が継続できるように努めます。混乱に対処できるよう、サプライチェーンを強化することは、優先課題であり、重要なシステムとデータの迅速な復旧に努めます。

4.4 持続可能な環境と社会への貢献



慈善活動や寄附を行う前に、以下の点を検討しよう

これらの原則は、スポンサーシップやメンバーシップにも適用されます。

コンプライアンス部門に相談したか？

受取人の贈収賄や腐敗行為リスク、レピュテーションリスクについて適切に審査済か？

適用法令において、寄附は許可されているか？

この寄附は見返りを求めることなく行われるものか？

この寄附はNTT DATAの事業・広告・サステナビリティ戦略に沿っているか？



これらの質問への回答がすべて「はい」の場合、関連する社内規程に従って、手続きを進めてください。



これらの質問のいずれかに「いいえ」と答えた場合は、次に進まず、コンプライアンス部門に相談してください。

そのような寄附の受益者がNTT DATAの社員、役員と直接または間接的に関係しているという疑いがある場合は、コンプライアンス部門に相談してください。



5. Business Ethics を維持するための あなたの役割

私たちは、以下の原則を遵守します。

5.1 倫理的な判断

5.2 内部通報



5.1 倫理的な判断



以下の問いをもとに、判断・行動しよう

この判断や行動は法規制を遵守しているか？	この判断や行動は社内規程やCodeに整合しているか？	個人的な利害関係がある場合、それを開示し、事前承認を得たか？	この行動が報道されたり、公に知られた場合、受け入れられる内容か？	この判断や行動はNTT DATAの最善の利益に合致するか？	この判断や行動はValuesに沿っているか？	この判断や行動に対する不快感はなく、業務上や上司からの不当な圧力を感じていないか？
----------------------	----------------------------	--------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	------------------------	---



これらの質問への回答がすべて「はい」の場合、関連する社内規程に従って、手続きを進めてください。



これらの質問のいずれかに「いいえ」と答えた場合は、次に進まず、コンプライアンス部門に相談してください。

5.2 内部通報

私たちは、社員および役員（そしてビジネスパートナー）に対し、容易でない状況であったとしても、不正行為の疑いやコンプライアンス上の懸念について、安心して声を上げ、報告してほしいと考えます。

私たちは、社員および役員が組織を守り、Codeや社内規程、法規制に関連するいかなる不正行為やコンプライアンス上の懸念についても報告することを期待しています。

通報することは、必ずしも容易ではありませんが、私たちの事業上またはビジネスパートナーによる倫理的またはコンプライアンス違反について声を上げることは、私たちの倫理的で説明責任を果たす職場環境の維持につながります。

私たちは、誰かが不正行為や違法行為に関与していると思われる場合、調査し、必要であれば是正できるよう、速やかに報告する責任があります。

私たちが大切にしている価値観のひとつは、あらゆる声を尊重し、意見の共有を奨励することです。

もし、あなたが声をあげた場合、あなたは公正に扱われ、善意で行った報告や調査への参加について、あらゆる形の報復から保護されます。

調査の詳細は、法が許す限り、機密に保たれます。

私たちは、適切に調査を行い、是正措置を提供する場合、または法に基づく必要がある場合を除き、情報を共有することはありません。



報告対象となる行為

- CodeやValues、社内規程に反する行為
- 法令に違反するおそれのある行為
- 社員および役員、ビジネスパートナーに対する不当、差別的、または非倫理的な行為
- 当社の報告ルートでなされた報告に対する報復行為
- その他NTT DATAの名誉又は社会的信用を著しく棄損する行為



報告対象外の事項

- ITや技術に関する問合せ
- 社内手続きや情報に関する問合せ
- 人事に関する不平不満。これらは、まず各社の人事部門に報告される必要があります。



6. コンプライアンス、 Code遵守状況の確認、 点検

私たちは、以下の項目に取り組み、日々の業務のなかにCodeを組み込みます。

6.1 コンプライアンス違反への対応

6.2 研修

6.3 Codeの理解

6.4 Code遵守状況の確認、点検

6. コンプライアンス、Code遵守状況の確認・点検

6.1 コンプライアンス違反への対応

Code、社内規程、および適用される法規制の要件を遵守しない場合、懲戒処分やその他法に基づく措置が取られることがあり、その中には解雇も含まれます。

私たちは、法律やCodeへの違反が疑われる場合には、公正かつ客観的に調査を実施する体制を整えています。このような違反を報告する場合は、関連する内部通報窓口をご利用ください。

6.2 研修

全ての社員および役員は、Codeを理解し、遵守する必要があります。社員および役員は、Codeに関する必須研修を毎年完了することが求められ、この研修にはCode遵守の宣誓および理解度の評価が含まれます。

6.3 Codeの理解

全ての社員および役員は、Codeを読み、理解したことを確認する必要があります。この確認は、年次の研修プログラムの一部を構成します。Codeを読まなかったり、確認しなかったとしても、Codeを遵守する責任から免れることはありません。

6.4 Code遵守状況の確認、点検

Codeおよび社内規程を遵守し、NTT DATAのValuesを大切にすることは、定期的にモニタリングされ、NTT DATAにおけるガバナンスに関する会議体や経営幹部に報告されます。

本Codeは、株式会社NTTデータグループの取締役会（2025年6月16日）において承認されています。



Codeにおける関連するコンプライアンスのテーマに関する索引

贈収賄、腐敗行為防止	3.1	脅迫、いじめ、ハラスメント	2.3, 2.4
反競争的なビジネス慣行、独占禁止	3.4	発明	3.9
マネーロンダリング防止、テロ資金供与	3.1; 3.3	縁故主義、利益相反、友人、家族	2.6; 3.6
反社会的勢力	3.3	グループ外の役員への就任	3.6
寄付、慈善活動	4.4	関連当事者	3.6
環境、サステナビリティ	4.4	第三者リスク管理、第三者との取引	3.3
ファシリテーションペイメント、キックバック	3.1	貿易コンプライアンス、輸出管理および輸入規制、反ボイコット法	3.2
財務記録、会計帳簿	4.1	商標、特許	3.9
詐欺、正確な報告および記録、正確な情報	4.1	株式の取引、インサイダー取引	4.3
接待贈答、利益供与	3.1	会社資産の使用	4.2
人権	2.1 - 2.6	暴力	2.3, 2.4
情報セキュリティ	4.2		

